

広報 つきがた

No. 95

昭和52年10月10日発行
発行/新潟県月潟村役場

毎月10日発行 1部10円
(昭和52年7月22日第三種郵便物認可)

人口動態	9月30日現在		9月中の移動	
	世帯数	793	人口総数	3,845
	(男 1,868 女 1,977)		出生	2
			死亡	1
			転入	5
			転出	7



＝全世帯に苗木を配布＝

村の木に「月桂樹」

雪椿(越後獅子) は推奨の木に
いちよう(銀杏)

庁舎新築記念事業の一環として又、緑化事業推進のため、村の木の指定を進めて参りましたが、去る八月二十三日の村議会全員協議会で審議の結果、次のとおり指定しました。

苗木を無償配布することになります。大切に育ててください。

○村の木 月桂樹

○村の推奨の木 雪椿(越後獅子) いちよう(銀杏)

○指定年月日

昭和五十二年十月一日

「月桂樹」という木

クスノキ科の常緑小高木。一名ローレルともいい、原産は地中海沿岸。葉はかたく、濃緑色で、ふちは多少波打ち、もむと芳香がある。雌雄異株でいずれも四弁(がらん弁で花弁はない)の小花が多数集まって葉のつけ根につく。果実は随円形で、なかに一個の種子が

あり、熟すと黒紫色になる。葉の芳香は精油で、主成分はシネオール、オイゲノール等で葉の乾燥量の一三%あり、揮発性で月桂油(ローレルオイル)と呼ばれる。果実からもとれ、料理の香料としてソース、カレー粉等に加える。また干した葉はそのままスープやシチューに入れて煮込む。ギリシャ時代から、この枝を冠につくって競技の勝利者に与えたといわれ、これを月桂冠とよんで勝利のシンボルとされている。しかし、この枝はわが国ではオリブの枝としばしば混同されている。いちばんよい見分け方は月桂樹は葉が互生し、オリブは対生の点で、オリンピックの勝者に与えられているのは月桂樹ではなく、オリブで、これは平和のシンボルである。